

平成17年8月4日

1号機タービン建屋内での水漏れについて

当所1号機は定格出力にて調整運転中ですが、平成17年7月28日、タービン建屋地下1階の給水加熱器ドレンポンプ*¹ 架台に水溜まりがあることを当社社員が発見いたしました。溜まり水はポンプ架台の床面から湧き出ており、溜まり水には放射性物質が検出されなかったことから、地下水と判断しておりました。

その後も湧き水の発生が継続していることから、8月3日に採取した湧き水について水質分析を行ったところ、本日、自然界に含まれる濃度よりも高い*²トリチウム*³が検出されたことを確認いたしました。

そのため、復水系からの漏えいの可能性も考えられることから、今後、詳細な調査を実施することといたします。

タービン建屋の周囲の地下水を分析した結果、問題のないことを確認しており、外部への放射能の影響はないものと考えております。

以 上

* 1 給水加熱器ドレンポンプ

給水加熱器で発生する凝縮水を復水系統に回収するためのポンプ。

* 2 高い

自然界の海水のトリチウム濃度は約 5×10^{-4} ベクレル/cm³。

今回検出された水のトリチウム濃度は約 4.0 ベクレル/cm³。

* 3 トリチウム

水素の仲間地球上のどこにでもある放射性物質で、原子炉の中でも発生している。